

人の財産の形を変える再開発事業で一番大切なのは行政側と地権者相互の信頼感。この事業がこれから計画されている南口や八日町の再開発に波及するようしっかりとイニシアチブを持って説明がなくてもいいものを創ってほしいと要望しました。

又、お隣の立川市などではリニアモーターカー誘致を前提とした検討会の設置や、多摩国体の開催につながる多摩東京移管 100周年記念の26市共同事業「TAMAらいふ21」の事務局の誘致等都や国に積極的な働きかけをしているのに本市の取り組みは、消極的過ぎると指摘しました。

■厚生水道委員会では、5年間の懸案だった北野清掃工場建設反対の請願にピリオドを打ち本会議の最終日には自ら討論に立ち「46万市民の公益を考えれば避けては通れない決断の時」と清掃工場再開の必要性を訴え、19対18で不採択とし、建設に向け急速な進展をする事ができました。しかしながら周辺住民の皆様の信頼を裏切る事なく、市街地にふさわしい工場の建設につとめる一方、下水、尿尿の既存二施設については環境整備はもちろんの事、今後も可能な限りあらゆる改良を重ねていく事を確認しました。

■この夏は、一年遅れの新婚旅行をと、計画していたのですが、細切れでしか休みがとれずやっぱりだめでした。それでもボーイスカウトのキャンプや友人とゴルフなど夏休みらしく過ごせました。久しぶりに家内と出かけた逗子マリーナでのユーミンのコンサートは、潮風に吹かれての楽しい休日でしたが、地元の生んだ（八日町の荒井呉服店のお嬢さんです）こんなにもポピュラーなミュージシャンのコンサートさえ開けない八王子を残念に思いました。多摩移管 100周年事業の中の全天候型多目的ホール（仮）多摩ドームの誘致こそが、「文化とスポーツで元気な八王子」のステージになると決意を新たにしました。スポーツと食欲の秋本番。ご自愛下さい。